

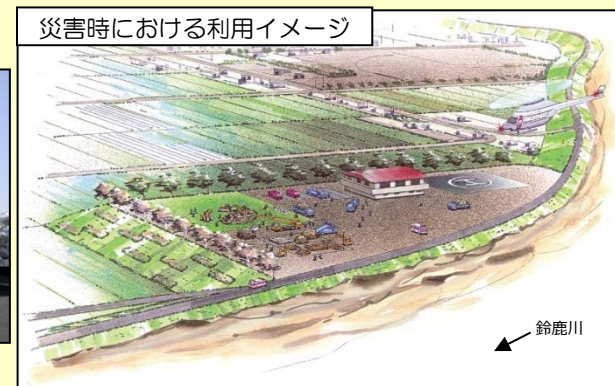
- 11月26日に「鈴鹿バルーンフェスティバル2017」において、河川パトロール車両の展示と併せて、今年 完成15周年を迎えた「鈴鹿川河川防災ステーション」に関するパネルを展示しました。
- 当日は、バルーンフェスティバルに来場された一般客の方々が、テントに立ち寄り、展示したパネルにて、防災ステーションの役割や鈴鹿川の過去の出水状況・浸水想定区域等について学んでいただきました。

防災ステーションの概要

- 弓削地区河川防災ステーションは、水防機材の備蓄、地域住民の避難地も兼ね、水防センター、ヘリポート、車両交換場所等の施設機能を有している。
- 昭和49年7月洪水では、堤防の決壊、河岸洗掘を中心に鈴鹿市、亀山市、四日市市の全域に渡り災害を受けており、当時約2000人が水防活動を実施。
- 平成11年に着手、平成14年に完成して15年目。
- 鈴鹿市により河川防災センターが整備され、災害時に使用する指令室等が設置され、平常時は会議室の開放や、鈴鹿川河川緑地公園の管理事務所も設置されている。



防災ステーション外観
(災害対策車両も配備)



災害時における利用イメージ

鈴鹿川



位置図

防災ステーションの利用状況

利用状況（平常時）

- 定期的な水防訓練等の実施
- センター内の防災啓発活動
- 災害対策車両の広域配備等



水防工法演習(鈴鹿市消防団)



センター内での防災啓発活動

- バルーンフェスティバルのテント村において、パネル展示と河川パトロール車両の展示を実施しました。
- パトロール車両への乗車体験に多くの親子連れが集まり、パネル展示も併せてご覧いただきました。



競技会場の状況



テント村の状況



パネル展示の状況



パネル展示のテント内の様子



三重河川国道事務所の展示ブース



河川パトロール車両の展示



河川パトロール車両への乗車体験